

生きがい

第61号

発行 平成28年1月1日
(公社)上越市シルバー人材センター
本所 上越市西城町1-12-4
Tel 025-522-2812
頸北支所 上越市柿崎区柿崎6405
Tel 025-536-6100
編集 広報対策部会
印刷 (有)かがやき

迎春

2016



「白鳥翔く」(諏訪地区) (撮影者: 広報 木村)

年頭にあたって



理事長 井部 博光

明けましておめでとうございます。

会員の皆様には、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、わが国の経済状況は今ひとつ好況の波に乗り切れておりません。昨年末に発足した第三次安倍政権では、景気刺激策として大型の補正予算を打ち出しておりますが、具体策としての効果がいつ現れるのか期待できる段階ではありません。

こうした状況の中、当センターの平成二十七年度の受託事業の実績見込みは今のところ前年度を下回り、派遣事業の実績見込みの増加分でカバーできておらず厳しい状況であります。

政府の施策として、地方創生社会の実現、一億総活躍社会実現の担い手として高齢者が期待されております。上越市でもこれに対応した基本計画の作成を進めており、まもなくこれに基づいた施策が具体化するものと思われます。

当センターとしても国や市の施策に沿った事業に積極的に協力していき、地域社会での高齢者の活躍の場を提供していきたいと考えています。

最後に、会員とご家族の皆様のご健康を祈念申し上げます。新年のご挨拶いたします。

新年のびあいやつ



上越市長
村山 秀幸

新年あけましておめでとうございませう。

この一年が皆様にとりまして希望に満ちた輝かしい年でありませう、心からお祈り申し上げます。

上越市シルバー人材センターにおかれましては、関係の皆様が多なるご尽力、ご努力のもと、多くの会員の皆様活躍され、高齢者福祉の増進、地域社会の活性化に大きな役割を果たしていただいていることに深く敬意を表するとともに、心から感謝申し上げます。

我が国は、世界のどの国も経験したことのない高齢化社会を迎えており、上越市も、昨年十月末現在の高齢化率は二九・六一%と、市民のほぼ三人に一人が六十五歳以上の高齢者という状況にあります。このような高齢化社会の中にあつては、高齢者の皆様が健康で生きがいを持つて充実した生活を送られることが重要であり、自分のできごとで社会に参加し、地域社

会に貢献していただく高齢者の皆様が増えることにより、「人が輝き」、「地域が輝き」、「まちが輝く」活力あるまちづくりにつながるものと思っております。

会員の皆様は、充実した生活を送るとともに、積極的に社会に参加する場として、シルバー人材センターが果たす役割は、これからも一層、高まっております。今後とも千二百人を超える会員の皆様の生きがいづくりや社会参加を図るため、積極的に事業運営を展開されてますよう、期待いたしております。

また、会員の皆様におかれましては、これまで培ってこられた豊富な知識や経験、技能を活かしながら、これからも地域社会に貢献いただき、生涯現役で活躍されますよう期待するとともに、次の世代にその知識や技術を伝えていただくことを願っております。

結びに、上越市シルバー人材センターのますますの御発展と、会員の皆様の御健康、御多幸、さらなる御活躍を心から祈念申し上げます、新年の御挨拶といたします。

第7回 就業先拝見

こんな仕事をしています



高校用務員として
頑張っています
飯田 三三二
(藤新田)

平成二十五年四月に学校用務員の仕事を紹介していただき、早いものでもう二年間働かせていただいております。

仕事の内容は、校舎内外の清掃や補修のほか、買い物など外回りの仕事もあります。学校なので、入学式や体育祭、テスト、春休み期間等々の各種イベントがあり、それに合わせた作業も行います。また、冬は除雪、夏は雑草の除去と、季節で作業内容が変わります。

その他、派遣業務ということ、指示事項や依頼事項もありますし、自分から気付いた仕事をやるようにしています。週間天気予報を見て、外仕事、内仕事の予定を組み立てながら、月曜日から金曜日までの五日間勤務です。



現在は三人で一週間づつ交替で勤務していますが、必要な時には連絡を取り

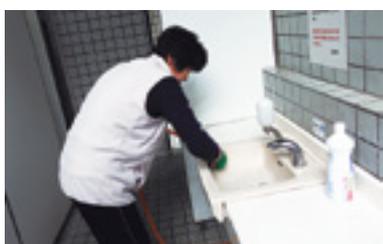
合ったりもします。健康な身体を維持して、これらも働き続けたいと思っております。



公衆トイレの掃除
小関 千鶴子
(柿崎区)

私がシルバー会員になってしばらくした時に、私の自由な時間帯でいいのでと、トイレ掃除の仕事を頼まれました。場所が家からも近く、時間が自由なのがいちばんでしたので、仕事を受けました。ところが海に近いトイレだったので、釣りの時期、海水浴の時期には汚れがひどく、ごみは置いていかれることもあり、目をそらしたくなります。そんな時、利用者さんから声をかけて頂くことがあります。「いつもきれいにして頂き有難うございます」。そんな時は、チョット嬉しく思い、人様の役に立つことを喜びに行きます。

また掃除に行きます。これからも元気で、仕事を頑張りたいと思っております。



写真で振り返るシルバーこの1年



市長要望 8/30



庭木剪定基礎知識学習会 7/14



刈払機取扱者特別講習 6/18



南三まつり出店 9/27



上越野菜料理教室 9/10



野菜収穫体験 9/10



冬囲い講習会 11/19



福祉ボランティア 10/30



福祉ボランティア 10/20

転倒、墜落・転落事故の防止について



今年度十一月末現在の事故の発生状況については三件の傷害事故が起きています。件数は昨年の六件に比べ半減しています

が、怪我はいずれも重傷で骨折でした。事故の内容は転落二件、転倒一件で、全国的にも就業中の傷害事故原因で、転倒及び墜落・転落は圧倒的に多いので十分注意が必要です。

剪定や冬囲い作業では班長がメンバーの安全作業に気を配り、時には忠告もしてくれますが、リーダーがいらない一般作業や単独作業では、危険な行為をしてもそれを注意してくれる人がいません。従って事故防止には「自らの体は自分で守る」という気持ちで、自主的・積極的に取り組むことが大切です。

転倒、墜落・転落事故防止のため次の点に注意しましょう。

- ①作業場所の整理整頓に心掛け、作業通路を確保する。(物をまたぐ行為はつまづきの原因になる)
- ②作業前に現場を確認し、段差や凹凸を頭にいれておく。

③ホウキで掃く作業は、前向きで作業を進めていく。

④荷物を抱え運搬するときは、通路上に障害物がないか確認し、あれば予めそれを取り除く。(足元が見えないためつまづきの原因になる)

⑤屋内作業では、履物としてスリッパ、サンダルは使用しない。スニーカーなど踵が入り滑りにくいものを履く。

⑥階段は下りるとき滑る・上るときつまづくものだとし、急がずゆっくり足を運ぶ。

⑦階段の上り下りでは、できるだけ手に荷物を持たないようにする。

⑧脚立を昇り降りする際は安全の意識レベルを上げるため、「脚立据え付けヨシ、登るぞ」、「降りるぞ」と指差呼称をする。

⑨高所作業の際、踏み台代わりに回転椅子や折りたたみ椅子は絶対に使用しない。(最も危険な行為)

生きがいや健康保持のために仕事をやるシルバー会員にとって、事故で大事な健康を失うことはあってはならないことです。一人ひとりが安全就業を心掛け、この新しい年を事故の無い良い一年にしましょう。(事務局)

各種講習に参加しました



ハウスクリーニング講習会
柳澤 興治
(春日野二)

通りを歩いているとショーウィンドーのガラス拭きをしている姿を見かけます。どのガラスを見ても拭き残しがありません、何故？
そんな疑問を抱いている時、ハウスクリーニング講習会のチラシが目に入り早速応募。私のガラス拭きは洗剤拭き、水拭き、空拭きの昭和レトロ。ワイパーを使うと拭き跡が残りにくいが悪い。今は拭いたガラスを日光に透かし拭き残しを探すのが楽しみ。レベルアップ出来たことに喜びを感じています。



この度、リフォームソーイング講習会に初めて参加いたしました。古着物リフォーム防災グッズ(ベスト)でした。初めは何もわからず、アイロンがけをしたりミシンをかけたりにして一日目は何となく終わってしまいました。二日目、何とかベストの形になってきました。仕上げはポケットとボタンホールです。ボタンホールはなかなかうまく行かず、それでも何とか出来上がりホッとしました。苦労した甲斐もあり、最後にベストを身に付けて皆、笑顔のハイ、ポーズ！でした。



ソーイング講習会
小野田和子
(稲田三)

これからの講習会の資料を見直しガラス拭き以外の作業のレベルアップも図りたいと思います。講習会に感謝します。



調理講習会
五十嵐紀美子
(南新町)

シルバー人材センターより講習会の案内をいただくたびに参加したいと思っておりました。我が家の食卓に新しいメニューをと思い、ワークパルでの講習会に参加しました。夏野菜のピザ、夏野菜のゴマ油和え、ナスのポタージュと、先生の御指導のもと、美味しい料理が出来上がり、参加者全員で試食させていただきました。

また、素敵な先輩方のお話しも楽しく、健康で歳を重ねる食生活が大切と実感しました。早速孫達に作り、とても好評でした。
これからも仕事をさせて頂いた皆さんながら皆様方と交流を持ち、講習会やボランティアで学びを深め、必要とされる生き方をしたいと思っております。



「はつらつシルバー農園」メンバーを募集します

是非ご参加下さい



平成十七年度から独自事業としてスタートしたシルバー農園は、平成二十二年度からは企画提案事業として上越市・国から助成を受け、六年間にわたり野菜作りを通して、地域の人たちとの交流事業や、ごみの減量化、上越野菜の普及PRなどに取り組んできたところでです。

来年度からは、新たに本格的な無農薬野菜の栽培に取り組み、安心・安全な体にやさしい野菜作りを行いながら、販路も拡大し独立採算を目指します。

畑は藤塚にあり、作業は週二回、半日程度です。経験の有無は問いません。無農薬野菜に興味のある方、健康のために身体を動かしてみたい方、一緒に野菜作りをしてみませんか？

お申込み、お問い合わせは事務局(池田、相澤)までご連絡下さい。
☎5222
| 2812



● 会員互助会この1年 ●

シルバー会員互助会通信

★清掃ボランティア活動

10月の「全国シルバー人材センター事業普及啓発促進月間」に合わせて6日(火)、柿崎区、高田、板倉区の三つの会場でシルバー主催の清掃ボランティア活動が一齐に実施されました。当日は合計80名の会員が参加しました。この活動はシルバーのPRにもつながるものです。来年もより多くの会員の参加をお願いします。



本所



頸北

参加者の皆さん、お疲れ様でした！



板倉

★納涼会

会員互助会の納涼会を、八月五日(水)デュオセレッソを会場に開催しました。当日は、昨年に引き続き上越市関原副市長にもご出席いただき、会員九十三名が出席し会員相互の親睦を図りました。

★研修旅行

今年の研修旅行は、会員の皆さんのアンケート結果を受け、十月八日(木)、日帰りを実施しました。今年には会員五十名が参加し、紅葉の日光・白根山への旅行となりました。当日は接近した台風の影響で強風と雨にたたられましたが、車中ではゲームやカラオケで楽しく過ごしました。

★忘年会

今年度最後の行事である忘年会を十二月十日(木)、ホテルハイマートを会場に開催しました。当日は会員など六十六名が出席し、一年間の互助会活動を振り返りながら、新たな年に向けて和やかに歓談、福引きやカラオケで会員相互の交流を深めました。当日は市議会の会期中にもかかわらず、笹川高齢者支援課長に村山市長の代理として御出席いただき、市長のメッセージを代読いただきました。



ご冥福をお祈りいたします

互助会規程に基き、亡くなられた会員へ弔慰金を支給、幹事がお届けしました。

(弔慰金)

★故霜鳥 義雄様 (寺町三)

★故堀越 満様 (大潟区)

*機関紙第六十号掲載以降の方

平成二十八年がスタートしました。互助会では、サークル活動を支援することで会員相互の親睦が深まり、シルバー全体がより活力のある元気な働き場となるよう、サークル活動への補助制度を今後提案していきたいと考えています。

今年も一年、よろしくお祈りいたします。
(互助会事務局)

事務局だより

<配分金と税金について>配分金収入に対する所得税法上の取り扱いについて

会員の皆様が受ける配分金は、所得税法上「雑所得」とされ、受け取った配分金収入は期間内(2月16日～3月15日)に確定申告をする必要があります。

配分金収入に対しては、「家内労働者等の事業所等の所得計算の特例・租税特別措置法第27条」より、65万円を上限として最低保証必要経費が認められます。

なお、配分金収入と給与所得(シルバー派遣による賃金)がある場合は、65万円から給与所得控除額を控除した残額が配分金に係る必要経費となります。

また、公的年金を受給している場合は、配分金収入とは別に公的年金等の控除が受けられます。

【計算例示】 ※会員A(66歳)の年間収入は次のとおりでした。

- ① 配分金収入 70万円
- ② 給与収入 50万円(シルバー派遣による賃金)
- ③ 公的年金収入 130万円

計算方法 (1) 配分金収入及び給与収入に係る計算

- ・給与収入(50万円) - 給与所得控除額(50万円) = 0円 (A)
- ・配分金収入(70万円) - 必要経費(65万円 - 50万円) = 55万円 (B)

(2) 公的年金に係る計算

- ・公的年金収入(130万円) - 公的年金等控除額(120万円) = 10万円 (C)

※公的年金等控除額は、受給者が65歳未満と65歳以上が異なります。

(A) + (B) + (C) = 0円 + 55万円 + 10万円 = 65万円

- ・所得金額(65万円) - 基礎控除(38万円) = 27万円
- ・課税所得金額(27万円) × 税率(5%) × 復興特別所得税(102.1%)

= 13,700円(100円未満切捨て) … 税額

◆配分金収入、給与収入、公的年金収入以外の収入がある場合の所得金額及びその他の控除額については、高田税務署(電話523-4173)へおたずねください。

役員の視察研修を実施

昨年十一月十日(火)、シルバー役員による視察研修を実施しました。今回の視察先である富山県砺波市シルバー人材センターでは、全国的に空き家の適正管理が問題となる中、「シルバー空き家サポーター」事業を立ち上げ、お客様に代って空き家等を定期的に訪問、点検を行う業務を行っています。当市においても空き家の適正管理が求められており、今後、シル



会員数

(12月31日現在)
1,218名
(男898名/女320名)
本所 948名
頸北支所 270名

地域懇談会の開催について

毎年開催している地域懇談会を本年も二月に開催する予定です。地域懇談会は、会員の皆さんからシルバー事業の運営や互助会活動に対するご意見をお聞きする大切な情報交換の場です。日程については地域班長を通じて案内文書でお知らせしますので、是非、ご出席ください。



どんど焼き(広報:木村)

あとがき

あけましておめでとうございます。



北陸新幹線開業で上越市も新しい一歩を踏み出し、私たちの行動範囲が広がりました。

さあ、今年も元気で!

今まで培った腕は宝!

それに加齢したことも忘れずに! これは事故を防ぐ礎とします。良き年になりますよう。

(広報 戸田)